

ごとう通信

第130号

平成23年10月1日

先月は残暑だったり、寒くなったり、そしてものすごい台風だったり。本当に落ち着かない日が続きました。特に今年の台風の被害は大きく、ほぼ全国で影響を受けました。皆さんは大丈夫でしたか？その日、僕は終日訪問診療日で、当たり前ですがいろいろ大変でした。よろけて車道に倒れそうになったり。これからは心地よい秋が来て欲しいものです。

実は先月、携帯電話を新しいものに変更しました。以前のものは四、五年使用していたもので、電話ができて少しメールができるもの。最近の機種はカメラ機能なども充実していますが、その携帯では、写してもよく

わからないくらいのものでした。ただ、とにかくシンプル！ある意味使いやすかったのですが、残念ながら壊してしまい交換することになってしまいました。

さて新しい携帯、可能な限りシンプルなものにしたのですが、以前のものよりもいろいろ機能が付いています。赤外線、おサイフ機能、コンシユルジュ機能まで。ほとんど必要がないものでいっぱい。若い人たちは使いこなしておられるのでしょうか。すごい時代ですねえ。

ちなみに僕は診療中、そして自転車移動中、もちろん公共の乗り物や喫茶店などでは携帯に出られません。それ以外の時間……ってほ



とんどないんです。おかげで携帯が壊れて使用できなかつた一週間、電話の着信二件、メールが二通。やっぱりあんまり必要ないみたいです。

歯医者で使う言葉

診療室などで皆さんがいろいろ現状を説明をしてくださいます。基本的には僕たちが分かればよいので問題は無いのですが、いろいろ間違つた用語を使われる方もいます。そこで、皆さんが間違いやすい言葉をいくつかあげてみましょう。

一番多いのは「部分入れ歯」と「ブリッジ」を混同している方。日本では歯というの基本的に取り外しできるもの。歯を磨くときに取り外して洗うようなものを言います。一方、